

# FAST FACTS

## 国連開発計画 (UNDP)



Empowered lives.  
Resilient nations.

### 危機後の状況でのガバナンス

紛争、暴力、または度重なる犯罪の影響を受けている人々は推定で 15 億人にのぼり、その大半は世界の後発開発途上国で暮らしています。脆弱な国家は、多くの場合、住民の意思決定への参加、住民の権利の行使や保護、資源の公平な分配、基本的サービス・司法制度・安全の提供を実現することができません。その結果、政府と国民の間の信頼は消え、サービスや安全の見返りに個人の自由の一部を放棄し、国家の権威に従うという暗黙の合意としての社会契約が弱体化します。

### UNDPのアプローチ

暴力的紛争の影響を受けている場所で暮らす人々にとって、政府機能と基本的サービスが復旧すること、また包括的な政治プロセスが推進されることは、国家に対する自信と信頼を構築するために欠かせません。

UNDP は、政府が社会的弱者のニーズを優先させ、女性、元兵士、紛争で住む場所を失った人々、若者など、社会的に軽視されがちな、または排除されている人々の声を復興プロセスに反映するよう支援しています。

危機によって影響を受けた国での UNDP のガバナンス活動は、以下に重点を置いています。

- **政府の活動に不可欠な機能を支援:** UNDP は、政府が危機後に中核機能を回復して、社会的サービス、安全、雇用を提供できるよう活動しています。ただし大半の住民にとっては、地方自治体が最も身近な公的機関であり、復興支援を得るための窓口となります。そこで UNDP は地方当局および市民社会組織と密接に協力して、地方ガバナンス機能の回復を目指しています。
- **包括的な政治プロセスの推進:** 危機後の民主的ガバナンスへの平和的移行のために、UNDP は政党およびコミュニティ・グループを育成し、助言を与え、選挙や政治的移行にまつわる暴力の可能性を減ら

すよう支援し、議会および憲法の強化を図っています。これにより、紛争後の社会ですべての人々が、平等かつ公正に民主的プロセスに加わることを目指しています。

- **平和構築と国家建設の推進:** 脆弱な状況で平和を構築し、国家を建設するには、ガバナンスが不可欠です。このために、UNDP は「ニューディール」を積極的に実施しています。「脆弱国における関与のためのニューディール」とは、脆弱な国々が長期的にわたる平和と安定を構築できるよう支援するために作られた、国家が主導する開発計画のためのグローバルな戦略です。



スーダンで UNDP のイベントに参加する女性(写真提供: UNDP スーダン)

## UNDP の活動

2012年から2013年までに、UNDPはg7プラス\*のすべてのパイロット国で「ニューディール」の実施を支援し、**コンゴ民主共和国、リベリア、シエラレオネ、南スーダン、東ティモール**での国家脆弱性評価および**ソマリア**での「ニューディール・コンパクト」の策定を支援してきました。

**コロンビア**では2012年、過去20年間に何度か試みて失敗に終わってきた政府と革命軍ゲリラの歩みよりが成立し、両者はこの国の49年にわたる紛争を終結させる交渉を開始する合意に署名しました。UNDPは、市民社会および国民が話し合いに参加して、和平プロセスにその声が反映されるよう、和平交渉をサポートしました。被害者の権利擁護団体は、UNDPの支援により、被害者にとってより公正な結果となるように法律が改定されたことを実感しています。この改定により、失った土地や加えられた暴力に対する賠償も実現可能になりました。

**リビア**では、UNDPは2012年7月に実施された初の国会議員選挙への女性の参加を支援しました。UNDPは女性が選挙活動に必要なスキルを身につけられるよう支援し、女性の政治キャリアを支持する国民意識向上キャンペーンに貢献しました。これらの活動や他の市民教育の結果、280万人の女性のうち130万人が選挙登録を行い、国会議員選挙に634人が立候補しました。

2012年は**ミャンマー**にとって歴史的な年となり、4月に行われた中間選挙後に民主主義への移行を果たしました。UNDPは列国議会同盟(IPU)と共同で、国会および地方議会の支援方法を検討するとともに、長期的平和構築を支援する活動を続けています。

20年以上におよぶ壊滅的な紛争と、常に脆弱な政治環境に苦しんできた**ソマリア**は、UNDPの支援を受け、2012年に連邦政府を樹立しました。UNDPの支援が結実して、議会が設立され、新しい憲法が制定し、議長、議員およびソマリア共和国大統領の選挙が実施されました。新憲法の起草プロセスに女性、若者、少数派団体が確実に加わるよう、UNDPは中心になって活動しました。現在では新しい議会の14パーセントを女性が占めるとともに、ソマリアの歴史上初めて、副首相兼外相に女性が任命されています。

**スリランカ**では、UNDPは75以上のコミュニティ・ベースの団体を支援し、地方当局とともにより良い基本的サービス提供の計画や、紛争の影響を受けた地域で人々に提供される政府援助の質を監視できるようにしました。



リビアで2012年の国会議員選挙で投票する女性の有権者(写真提供: Samia Mahgoub/UNDP)

コミュニティを基盤としたフォーラムの提言によって、これまでに全政府機関の半数が紛争の影響を受けた地域でのサービス提供を再開し、公共機関および学校が再建され、社会問題の克服に対する政府の支援が強化されました。現在ではこれらの団体の66パーセントが、政府主導の調整会議に正式な代表として参加しています。

2012年後半から2013年前半にかけて、UNDPは**チュニジア**の第二次憲法草案を審議する憲法制定議会に継続的な支援を行いました。UNDPは、3,000人以上の市民および市民社会の代表が、選挙で選ばれた代表に会い、議論し、草稿に意見を加えられるよう支援しました。

**パレスチナ自治政府**は2012年末に、5年以上も実施されなかった地方選挙を実施しました。UNDPは選挙に先立ち、若者、学生の政治活動家、女性が選挙運動に加わるための教育を支援しました。20人の女性が地方選挙に立候補し、3人が選出されています。

\* 「g7プラス」グループは、脆弱国および紛争の影響を受けた国計19か国と、開発パートナー国、国際機関からなる。

詳細については、以下にお問い合わせください。  
国連開発計画(UNDP)  
One United Nations Plaza, 20th Floor  
New York, NY 10017

[www.undp.org/cpr](http://www.undp.org/cpr)

2013年10月



Empowered lives.  
Resilient nations.